

# 令和2年度 事業報告

当機構の目的を達成するため、次に掲げる事業を行った。

## 1 評議員会・理事会開催状況

会議名	開催日	審議事項等の内容
令和2年度第1回 臨時理事会	令和2年4月17日 書面による理事会	・令和2年度第1回臨時評議員会の 書面開催及び提出議案
令和2年度第1回 臨時評議員会	令和2年5月7日 書面による評議員会	・理事4名の選任
令和2年度第2回 臨時理事会	令和2年6月17日 書面による理事会	・令和2年度第2回臨時評議員会の 書面開催及び提出議案
令和2年度第2回 臨時評議員会	令和2年7月3日 書面による評議員会	・理事1名の選任
令和2年度第1回 通常理事会	令和2年7月17日 会場： 西鉄グランドホテル	・令和元年度事業報告 ・令和元年度財務諸表 ・公益財団法人九州大学学術研究都市推 進機構就業規則の一部を改正する規則 の制定について ・令和2年度第1回定時評議員会の招集 及び提出議案について ・業務実施状況報告
令和2年度第1回 定時評議員会	令和2年8月24日 会場： ホテルオークラ福岡	・令和元年度財務諸表 ・令和元年度事業報告 ・中期事業計画（2020～2022年度） ・令和2年度事業計画報告
令和2年度第3回 臨時理事会	令和2年10月22日 書面による理事会	・令和2年度第3回臨時評議員会の 書面開催
令和2年度第3回 臨時評議員会	令和2年11月13日 書面による評議員会	・評議員1名の選任 ・理事1名の選任
令和2年度第4回 臨時理事会	令和2年11月27日 書面による理事会	・副理事長1名の選任
令和2年度第2回 通常理事会	令和3年2月15日 会場： 電気ビル共創館 (オンライン開催)	・令和3年度事業計画 ・令和3年度収支予算 ・業務実施状況報告

※書面による理事会・評議員会の開催日は、決議書の作成日

## 2 事業の概要

### (1) 学術研究に関する広報活動事業

#### ① セミナーの開催、展示会への出展

##### i 「九州大学学術研究都市セミナーin 東京2020」の開催

首都圏等における情報収集及び産学官連携、企業・研究機関の立地につながる企業訪問に有効であり、また九大学研都市のプレゼンス向上に資するため、セミナーを開催し、九州大学の研究シーズ、九大学研都市の施設・設備など最新の情報を広く発信した。

- ・テーマ：「オープンイノベーションが創る次世代産業  
ーファインマテリアルから空飛ぶクルマまでー」
- ・開催日：令和2年12月1日
- ・場所：ハイアットリージェンシー東京（オンライン同時配信）
- ・参加者数：会場67名、オンライン153名、計220名

##### ii 価値共創の先進エリア「九州大学学術研究都市フォーラム」の開催

県内や九州内の企業に対して、九大学研都市の魅力や九大学研都市構想推進の必要性の再認識・九州大学の各種シーズ等の理解を促進するとともに、九州大学と地元企業・事業者等との学術的交流、人的交流の活性化等の意識醸成を図る情報を発信した。

- ・開催日：令和3年3月22日
- ・場所：ホテル日航福岡（オンライン同時配信）
- ・参加者数：会場74名、オンライン158名、計232名

##### iii 各種展示会への出展（中止）

#### ② 情報の総合窓口（プラットフォーム）化

##### i ICTを活用した情報発信の強化

九大学研都市の新たなフェーズを踏まえてホームページをリニューアルするとともに、SNSを活用した情報発信を開始した。

##### ii メールマガジンの発行

当機構の活動並びに関係機関・団体等の情報をタイムリーに当機構の会員に対して発信した。（発信回数19回、令和2年度末会員登録数 約1,900件）

#### ③ 国省庁等への要望活動

##### i 国省庁への要望活動

令和2年8月26日、関係省庁（文部科学省、経済産業省、国土交通省の3省庁8関係課等）に対し、九大学研都市の現状説明及び九大学研都市構想の推進に必要な事項に関する要望活動を実施した。

##### ii 地元選出国會議員への協力要請

令和2年8月26日、地元選出国會議員事務所（東京）を訪問し、九大学研都市の現状説明及び九大学研都市構想の推進への協力を要請した。

#### ④ その他の広報活動

- i 福岡観光コンベンションビューロー出展のオンライン商談会を活用した広報  
令和3年2月24日～26日、オンラインで開催された商談会において、九大学研都市周辺研究施設、観光施設等の情報提供を実施した。
- ii デジタルサイネージの活用  
JR九大学研都市駅に設置しているモニターテレビを活用し、九大学研都市や九州大学の情報など様々な情報を発信した。

#### (2) 産学官の共同研究による研究開発支援事業

##### ① 分析クラスター形成プロジェクトの推進

- i 「分析化学講習会」の開催支援（中止）
- ii 九大学研都市内の分析機器の活用を図る「分析NEXT」支援
- iii 「一般財団法人化学物質評価研究機構寄付講座」の開催支援（共催）
- iv 施設入居者の発掘
- v 「先端電子顕微鏡フォーラム」の運営

九州大学超顕微解析研究センターと連携して、九州大学保有の電子顕微鏡を民間企業に開放するセミナーの開催及び勧誘活動を実施した。なお、会員企業数については新型コロナウイルス感染症の影響による休会のため前年比1社減となり現在5社となっている。

・テーマ：「九大学研都市 観察・分析装置民間開放セミナー  
～最新鋭の観察・分析装置を共用したモノづくり～」

・開催日：令和3年3月24日

・場所：天神ビル

・参加者数：22名

また、ナノテク産業化基盤技術の有効活用及び高度化と融合を目指した「先端電子顕微鏡フォーラム研究・技術懇談会」を電子媒体での講演内容の情報共有により実施した。

・テーマ：ナノテク産業化基盤技術の有効利用および高度化と融合を目指した研究会2021

・開催日：令和3年3月5日

・場所：オンライン開催

・参加者数：46名

##### ② 最先端研究プロジェクトの支援

九大学研都市の研究開発拠点形成、企業立地促進に向け、九州大学学術研究・産学官連携本部や最先端有機光エレクトロニクス研究センター（OPERA）等の活動を積極的に支援した。

- i 「九州大学オープンイノベーションワークショップ」の共催（中止）
- ii 「第16回有機光エレクトロニクス産業化研究会」の開催支援

iii 「オープンサイエンスプラットフォーム説明会」の開催

- ・開催日：令和2年12月21日
- ・参加者：オンラインによる参加者41名

③ 九大理農系分野に対する最先端研究プロジェクト推進支援

i 農林水産業コンソーシアム創設事業

農林水産業コンソーシアム創設事業において、コンソーシアムの中核となる研究分野、研究者を抽出するため、事業化や企業との共同研究に興味・関心を持つ研究室及び、附属農場の移設へ関わった研究室へのヒアリング調査を行った。

ii 「九州大学・OPACKジョイントセミナー」の開催

- ・テーマ：「農産物の輸出促進に向けた九州大学の取組」
- ・開催日：令和2年12月11日
- ・場所：西鉄グランドホテル(オンライン同時配信)
- ・参加者：会場32名、オンライン79名、計111名

iii 「九州大学農学部附属農場キックオフセミナー」の開催

- ・テーマ：「日本一のオンキャンパス農場における産学連携で新しいビジネスをつくる」
- ・開催日：令和3年3月16日
- ・場所：西鉄グランドホテル(オンライン同時配信)
- ・参加者：会場47名、オンライン87名、計134名

④ 九大研究シーズ発表会

九州大学学術研究・産学官連携本部と共催し、九州大学の研究開発シーズに関するセミナーを開催した。

「九州大学ライフサイエンスセミナー」の開催

- ・テーマ：「五感情報科学の最前線」
- ・開催日：令和2年12月3日
- ・場所：日本橋ライフサイエンスビルディング(オンライン同時配信)
- ・参加者：会場7名、オンライン62名、計69名

⑤ 九大学研都市起業・事業化支援

i 「第4回九州大学ビジネスプランコンテスト」の支援

令和2年11月21日開催の「第4回九州大学ビジネスプランコンテスト」の支援を行った。

ii 九大ギャップファンド採択者と企業等とのマッチング

九州大学の研究成果(知的財産)に基づく大学発ベンチャー37件の採択に対し、8件のマッチングを実施した。

⑥ 九大学研都市を実証フィールドとする研究プロジェクト

研究プロジェクトの導入に際しての九大学研都市の課題、九州大学の研究者が対応

可能な新たな産学官共同研究テーマを探索するため、企業・研究者への訪問、学術講演会・セミナーへの参加等による情報収集を行った。

### (3) 産学連携交流支援事業

#### ① 国際的な学術文化都市にふさわしいまちづくりの促進

まちづくりの連携基盤の構築の取組みを充実させるため、まちづくりに対する機運の醸成を目的としたセミナーの開催や多様な主体の参加によるワークショップなどを行った。

##### i 「アーバンデザイン会議九大 (UDCQ)」の開催 (2回)

- ・テーマ：九大学研都市で「これから実現したいこと」を考える
- ・開催日：令和3年3月1日、令和3年3月15日
- ・場所：九州大学伊都キャンパス
- ・参加者：計63名

##### ii 「まちづくりスクール」の開催 (4回)

(第1回) 「実践」地域活動～わたしも地域で活動してみよう～

- ・開催日：令和2年7月15日
- ・場所：さいとぴあ (オンライン同時配信)
- ・参加者：会場48名、オンライン51名、計99名

(第2回) 居場所について考える

- ・開催日：令和2年9月10日
- ・場所：九州大学伊都キャンパス (オンライン同時、オンデマンド配信)
- ・参加者：会場39名、オンライン53名、オンデマンド59名、計151名

(第3回) 交流～つながることで生まれる新たな価値～

- ・開催日：令和2年12月15日
- ・場所：九州大学伊都キャンパス (オンライン同時、オンデマンド配信)
- ・参加者：会場36名、オンライン32名、オンデマンド20名、計88名

(第4回) まちづくり×多様性＝まちの魅力UP

- ・開催日：令和3年3月8日
- ・場所：九州大学伊都キャンパス (オンライン同時、オンデマンド配信)
- ・参加者：会場26名、オンライン43名、オンデマンド28名、計97名

##### iii 「九大学研都市・外国人にも住みやすい環境整備推進会議」の開催

国際化支援団体及び産学官での九大学研都市国際化に関する会議を開催した。  
(令和3年1月27日)

##### iv 糸島半島における多様なモビリティ実証事業の導入支援

「移動サービスで北部九州を未来へ繋がるよかまちへ」をコンセプトとする「よかまちみらいプロジェクトコンソーシアム」の発足を支援した。

##### v 「九大学研都市交通手段等検討会」の開催

産学官での九大学研都市交通体系の強化に関する会議を開催した。  
(令和3年3月5日)

vi 地域交流イベントの開催

「いとにぎわい祭り」(中止)

vii 「外国人留学生の九州定着に向けた意見交換会」の開催

・開催日：令和2年11月11日

・場所：電気ビル共創館

・参加者：41名

(企業26名、県・市・県留学生サポートセンター、九州大学、九経連ほか15名)

viii 地域向け留學生理解促進パンフレット作成

外国人に対する歓迎機運を醸成することを目的として、九州大学留學生センター、さいとびあと協働して地域住民や地域事業者等に留學生のことを知ってもらうためのパンフレットを作成した。

ix 「ポスト・コロナ社会における都市情報基盤のVR・AR化による合意形成手法構築」

まちづくりの合意形成などにおいて活用する手法を構築する共創的研究開発プログラム募集事業について、令和2年6月に九州大学キャンパス計画室と共同提案した。

② 九州大学学術研究・産学官連携本部、その他関係機関との連携強化

九州大学学術研究・産学官連携本部と経常的に情報交換するとともに、連携してセミナー開催等の事業を実施した。

(4) 研究機関等の立地支援事業

① リサーチパーク等への研究所立地支援、産学連携施設への入居者誘致

既に立地する「水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC)」、「最先端有機光エレクトロニクス研究センター (OPERA)」、「有機光エレクトロニクス実用化開発センター (i<sup>3</sup>-OPERA)」、「三次元半導体研究センター・社会システム実証センター」等を利用する可能性が高い企業、展示会・セミナー等の参加企業及び九州大学との共同研究に関心がある企業を中心に訪問活動(うちWEB面談：14社)を行った。

本事業で関与した企業・機関のうち5社について、九州大学との共同研究、施設利用の開始等につなげることができた。

<訪問先>

ナノテク関連：13社、アグリ・フード関連：9社、半導体関連：2社、社会システム関連：1社、エネルギー関連：10社、次世代モビリティ関連：2社、ライフサイエンス関連：6社、その他22社 公的機関：16機関 合計81社・機関

② 企業の要望に応じた視察対応

九大学研都市や九大シーズに関心を寄せた企業等に対し、要望に応じて個別に立地用地や九大シーズ、利用可能な設備、九大学研都市に立地した研究所・産学連携施設の現地案内・マッチングを行った。

・視察実施回数11回(8企業・団体：27名)

・ビジネスマッチング16回(10企業・団体：42名)

③ 研究サポート企業等の誘致

九州大学の職員・学生、地域住民・事業者等と連携したプロジェクトチームを構築し、九州大学伊都キャンパスに隣接する施設の一角に、大学と地域の交流や情報発信・情報交換ができるフリースペース「元岡オープンサロン」を開所し、短期実証事業を実施した。

実証事業期間 令和2年9月16日から10月31日

42日間開所、延利用者数339名、イベント実施31回

(5) 組織運営

① 九州大学学術研究都市企画会議・情報会議の開催

福岡県、福岡市、糸島市、九州大学、九州経済連合会の九大学研都市づくり担当者による重要事項の審議、情報の共有等を行うための会議を5回開催した。

② 九州大学学術研究都市推進協議会事務局としての活動

九州大学学術研究都市推進協議会総会を開催した。(令和2年6月26日書面会議)

## 事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構  
理事長 貫 正 義

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則  
(平成十九年四月二十日法務省令第二十八号)

第四款 事業報告

第三十四条 法第二百二十三条第二項の規定により作成すべき事業報告及びその附属明細書については、この条の定めるところによる。ただし、他の法令に別段の定めがある場合は、この限りでない。

2 事業報告は、次に掲げる事項をその内容としなければならない。

- 一 当該一般社団法人の状況に関する重要な事項（計算書類及びその附属明細書の内容となる事項を除く。）
- 二 法第七十六条第三項第三号及び第九十条第四項第五号に規定する体制の整備についての決定又は決議があるときは、その決定又は決議の内容の概要

3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。